

アイヌ民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2



アイヌ民族博物館

第3話 散文の物語

トドをだまして肉をとる

収録日：1996年9月28日

資料番号：35232A

添付 CD：3-3（4分25秒）

第3話 散文の物語「トドをだまして肉をとる」¹⁾

パナンペ アン ペナンペ²⁾ アン ヒネ
 Pananpe an Penanpe an hine
 パナンペ いる ペナンペ い て

パナンペとペナンペが

オカアン³⁾ ヒケ
 oka=an hike
 暮らす(私) したが

いました。

パナンペ ピシ タ サン アクス
 Pananpe pis ta san akusu
 パナンペ 浜 に 出 たところ

パナンペが浜に出たところ

エタシペ ヤン ワ アン ヒ クス
 etaspe yan wa an hi kusu
 トド 上陸し て いる ので

トドが陸に上がっていたので

5 “エタシペ アエコムイ ナ”
 “etaspe a=e=komuy na”
 トド (私がお前の)シラミを取る よ

「トドよ、シラミを取ってあげよう」

セコロ パナンペ ハウエアナクス エタシペ
 sekor Pananpe hawean akusu etaspe
 と パナンペ 言っ たところ トド

と言いました。するとトドが

“エ、ホクレ イコムイ ウン”
 “e, hokure i=komuy un”
 はい 早く (私の)シラミを取って ね

「ええ、早く取ってちょうだい」

セコロ エタシペ ハウエアン イクス
 sekor etaspe hawean _hi kusu
 と トド 言う ので

と言うので

アコムイ ペコロ イキアン コロ
 a=komuy pekor iki=an kor
 (私)シラミを取る ように する(私) ながら

シラミを取っているふりをして

10 オクストウ アメス ワ
 oksutu a=mesu wa
 襟首 (私)そい で

襟首の肉をむしって

アエ ア アエ ア コロ アナナクス
 a=e a a=e a kor an=an akusu
 (私)食べに食べ て いる(私) したところ

食べまくっていました。すると

- 1 この話は 1996 年 9 月 28 日アイヌ民族博物館のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」で採録されたもの。解説は本田優子氏。上田トシ氏はこの話を、田村すず子編著『早稲田アイヌ語音声資料 2—ワテケさんの昔話—』所収「トドのシラミ取り」(話者: 鳩沢ふじの)(pp.66-69)の音声資料を聞いて覚えたようで、言葉の表現など随所に共通点が見られる。本書の対訳もこの文献を参考にした。以下注で引用の場合は「早」と記す。
- 2 いわゆる「ペナンペパナンペ譚」。この話ではパナンペ(「川下の者」の意)の真似をしたペナンペ(「川上の者」の意)が失敗をするという内容の小話。地域によってはパナンペとペナンペの立場が逆転していることもある。
- 3 通常この類の小話は 3 人称で語られるが、上田トシさんの話では散文説話のようにア a=、アン =an などの人称で語られている部分が多い。

エタシペ ヘレパシ シキル ヒ クス
 etaspe herepasi sikiru hi kusu
 トド 沖へ 向く ので

トドが沖のほうへ向きを変えたので

“ホクレ アラパ オクストウ チメス!”
 “hokure arpa oksutu cimesu!”
 早く 行け 襟首 そがれ

「早く行け、襟首そがれ！」

セコロ パナンペ ハウエアン ルウエ ネ アクス
 sekor Pananpe hawean ruwe ne akusu
 と パナンペ 言う こと だっ たところ

とパナンペが言ったところ

15 エタシペ
 etaspe
 トド

トドは

“ホ、マカナク ヘ タ⁴ ネ?”
 “ho, makanak he ta ne?”
 はい どのように かこそ である

「はい？ 何て言ったんだい？」

セコロ エタシペ ハウエアン ヒ クス
 sekor etaspe hawean hi kusu
 と トド 言う だから

と言いました。なので

“ホクレ アラパ アコロ エタシペ
 “hokure arpa a=kor etaspe
 早く 行きなさい(私)の トド

「早く行きなさい、私のトドさん

セコロ ハウエアン ハウエ ネ ワ”
 sekor hawean hawe ne wa”
 と 言ったの である よ

と言ったんだよ」

20 セコロ パナンペ ハウエアン ルウエ ネ アクス
 sekor Pananpe hawean ruwe ne akusu
 と パナンペ 言う こと だっ たところ

と言ったところ

“チヌ エウエン ペ ウン チ!⁵
 “cinu ewen pe un ci!”
 耳 が悪い もの だと

「耳が悪いとでも思ったか！」

セコロ ハウエアン コロ ヘレパシ⁶
 sekor hawean kor herepasi
 と 言い ながら 陸へ

と言ってこちらに向かって

イケサンパ ヒ クス
 i=kesanpa hi kusu
 (私に)追いかける ので

パナンペを追いかけて来たので

ヘヤシ キラアン アクス
 heyasi kira=an akusu
 陸へ 逃げる(私) したところ

陸のほうへ逃げました。すると

4 マカナケタ makanaketa 「どうしたんだ？ 何だって？」 [田] [早] とあるが、ここではトシ氏が言った通りに表記した。

5 [早] ではチヌ エウエン ペ ヘ ウン チイエ cinu ewen pe he un ciye! 「耳が悪いわけじゃないんだぞ！」となっている。

6 ここは「陸の方へ」と言うべきところなのでヘレパシ herepasi 「沖へ」ではなくホレパシ horepasi と言おうとしたのだろう。

- 25 ニテク カ タ シネ パシクル
 nitek ka ta sine paskur
 枝 の上 に 一羽 カラス
 木の枝の上に一羽のカラスが
- レウ ヒネ アン ヒネ
 rew hine an hine
 とまっ て い て
 とまっていて
- “カア カア カア
 “ kaa kaa kaa
 カー カー カー
 「カーカーカー
- フツネ ピナイ カリカリ
 hutne pinay karikari
 狭い 谷 を通れ通れ
 狭い谷を通れ通れ
- カア カア
 kaa kaa
 カー カー
 カーカー
- 30 セブ ピナイ カリカリ”
 sep pinay karikari”
 広い 谷 を通れ通れ
 広い谷を通れ通れ」
- セコロ ハウエアン… パシクル レウ ヒ クス
 sekor hawean... paskur rew hi kusu
 と 言う カラス とまる ので
 と鳴いたので
- オラ セブ⁷ ピナイ カリ キラアン ヤクン
 ora sep pinay kari kira=an yakun
 こんど 狭い 谷 を通って 逃げる(私) ならば
 狭い谷を通って逃げれば
- ピリカ ナンコロ セコロ ヤイヌアニ クス
 pirka nankor sekor yaynu=an_hi kusu
 いい だろう と 思う(私) ので
 いいんだろうと思いました。そこで
- セブ ピナイ カリ キラアン アクス
 sep pinay kari kira=an akusu
 狭い 谷 を通って 逃げる(私) したところ
 狭い谷を通って逃げたところ
- 35 ナイ フツネ プ ネ クス オシロウン⁸
 nay hutne p ne kusu osiroun
 川 狭い ものだ から ひっかかる
 川が狭いので途中で
- エタシペ キ ヒ クス
 etaspe ki hi kusu
 トド する ので
 トドがひっかかってしまったので
- オロ タ アラパアン ヒネ
 oro ta arpa=an hine
 そこ に 行く(私) して
 そこに行つて

7 ここはフツネ hutne 「狭い」と言おうとしたのであろう。その後の展開もそうになっている。

8 [早] ではオウンオウン ounoun 「ひっかかる」となっている。他にオシロク osirok 「ひっかかる」[田] という語もある。

アキツキク ヒネ アライケ ヒネ オラ
 a=kikkik hine a=rayke hine ora
 (私)何度も殴る して (私)殺す して そして

叩き殺してしまいました。そして

カミヒ アルラ アルラ ヒネ オラ
 kamihi a=rura a=rura hine ora
 その肉 (私)運び (私)運び して こんど

肉を運んで来て

40 アエニシパネ コロ アナン ルウエ ネ アクス
 a=enispane kor an=an ruwe ne akusu
 (私)長者になっ て いる(私) の だっ たところ

長者になりました。

オロ タ ペナンペ エキネ
 oro ta Penanpe ek_hine
 そこ に ペナンペ 来 て

そこにペナンペが来て

“パナンペ イトウラ ウエンクル エネ ア プ
 “Pananpe itura wenkur e=ne a p
 パナンペ 一緒に 貧乏人 (お前)だった が

「パナンペよ、共に貧乏人であったおまえが

マク ネ ヘネ エニシパネ”
 mak ne hene e=nispane”
 どう である ても (お前)長者になる

どうして長者になったのだ」

セコロ ハウエアン ヒ クス
 sekor hawean hi kusu
 と 言う ので

と言うので

45 “エ、ウカスイ イペアン コロ
 “e, ukasuy ipe=an kor
 はい 一緒に 食事をする(私) ながら

「おお、共に食事をしながら

アエパシクマ ナ”
 a=epaskuma na”
 (私)話す よ

話をしよう」

セコロ ハウエアナン アクス ペナンペ
 sekor hawean=an akusu Penanpe
 と 言う(私) したところ ペナンペ

と言ったところ、ペナンペは

“ホシキ タシ チヌ ア プ”
 “hoski tasi cinu a p”
 先に こそ 聞いた のに

「先に聞いているものを」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言って

50 アパ パ クチツ テツテク⁹ ワ イサム。
 apa pa kucir_ tettek wa isam.
 戸 端 小便をかけ て しまう

戸口に小便をかけて行ってしまいました。

9 クチツ テク kucir_ tek 片足をあげて小便をかける [田]。

オラ パナンペ ピシ タ サン アクス
 ora Pananpe¹⁰ pis ta san akusu
 そして ペナンペ 浜 に 出 たところ

そこでペナンペが浜に出たところ

エタシペ ヤン ワ アン ヒ クス ネ エタシペ
 etaspe yan wa an hi kusu ne etaspe
 トド 上陸して いる ので そのトド

トドが陸に上がっていたので、そのトドに

“エタシペ、アエコムイ ナ”
 “etaspe, a=e=komuy na”
 トド (私がお前の)シラミを取る よ

「トドよ、シラミを取ってあげよう」

セコロ ハウエアナン アクス
 sekor hawean=an akusu
 と 言う(私) したところ

と言ったところ

55 “エ、ホクレ イコムイ ウン”
 “e, hokure i=komuy un”
 はい 早く (私の)シラミを取る よ

「ええ、早く取ってちょうだい」

セコロ エタシペ ハウエアナン イ クス
 sekor etaspe hawean _hi kusu
 と トド 言う ので

と言うので

アコムイ ペコロ ハウエアナン… ペコロ イキアン コロ
 a=komuy pekor hawean... pekor iki=an kor
 (私)シラミを取る ように する(私) ながら

シラミを取っているふりをして

オクストウ アメス ワ アエ ア アエ ア コロ
 oksutu a=mesuwa a=e a a=e a kor
 襟首 (私)そい で (私)食べに食べ ながら

襟首の肉をむしって食べまくりました。

アナン アクス ヘレパシ アラパ ヒ クス
 an=an akusu herepasi arpa hi kusu
 いる(私) したところ 沖へ 行く ので

そうしていると沖に行こうとするので

60 “ホクレ アラパ、オクストウ チメス!”
 “hokure arpa, oksutu cimesu!”
 早く 行け 襟首 そがれ

「早く行け、襟首そがれ!」

セコロ スイ アイェ アクス
 sekor suy a=ye akusu
 と また (私)言っ たところ

とまた言ったところ

“ホ、マカナケタ ネ?”
 “ho, makanaketa ne?”
 はい 何だって?

「はい? 何だって?」

セコロ エタシペ ハウエアナン ヒ クス
 sekor etaspe hawean hi kusu
 と トド 言う ので

とトドが言うので

10 ペナンペ Penanpe と言おうとしたのだろう。

“ホクレ アラパ、アコロ エタシペ

“hokure arpa, a=kor etaspe

早く 行け (私)の トド

「早く行きなさい、私のトドさん

65 セコロ ハウエアナン ハウエ ネ ワ "

sekor hawean=an hawe ne wa"

と 言う(私) こと だ よ

と言ったのですよ」

セコロ ペナンペ ハウエアナン コロ

sekor Penanpe hawean kor

と ペナンペ 言う と

とペナンペが言うと

イケサンパ ヒ クス

i=kesanpa hi kusu

(私)追いかける ので

追いかけて来たので

ヘヤシ ヤナン ア コロカ…アクス

heyasi yan=an a korka... akusu

陸へ 上陸する(私) した けれど したところ

陸に上がったところ

パシクル ニテク カ タ レウ ヒネ アン ヒネ

paskur nitek ka ta rew hine an hine

カラス 枝 の上に 止まっ て い て

カラスが枝の上で止まっていました。

70 "カア カア カア

"kaa kaa kaa

カー カー カー

「カーカーカー

フツネ ピナイ カリカリ

hutne pinay karikari

狭い 谷 を通れ通れ

狭い谷を通れ通れ

セブ ピナイ カリカリ

sep pinay karikari

広い 谷 を通れ通れ

広い谷を通れ通れ

カア カア "

kaa kaa"

カー カー

カーカー」

セコロ パシクル レウ ヒ クス

sekor paskur rew hi kusu

と カラス 止まる だから

とカラスが鳴いていました。そこで

75 ペナンペ ヤイヌ ヒ

Penanpe yaynu hi

ペナンペ 思う こと

ペナンペは

“セブ ピナイ カリ キラアン ヤクン

“sep pinay kari kira=an yakun

広い 谷 を通って 逃げる(私) ならば

「広い谷を通って逃げたら

セブ ピナイ キラアン フミ ピリカ "

sep pinay kira=an humi pirka"

広い 谷 逃げる(私) 感じ 良い

いいようだ」

セコロ ヤイヌ ヒ クス
 sekor yaynu hi kusu
 と 思う ので

と思ったので

セツ ピナイ カリ キラアン アクス
 sep pinay kari kira=an akusu
 広い 谷 を通って 逃げる(私) したところ

広い谷を通して逃げたところ

80 エタシペ オシロウン カ ソモ キ ノ
 etaspe osiroun ka somo ki no
 トド ひっかかり も しない で

トドは引っかかることもなく

ナイ セブ ペ ネ クス
 nay sep pe ne kusu
 川 広い もの だ から

川幅が広いので

ネイ パクノ イケサンパ ヒネ
 ney pakno i=kesanpa hine
 どこ までも (私に)追いかけて

どこまでも追いかけて来て

パナンペ¹¹ オシコニ ワ
 Pananpe oskoni wa
 ペナンペ に追いつく して

ペナンペは追いつかれて

トイ ライ ウェン ライ セコロ アン
 toy ray wen ray sekor an
 ひどい 死に方 悪い 死に方 と いう

ひどい死に方をしたという

85 タクネ パナンペ ウウエペケン ネ ワ。
 takne Pananpe uwepeker_ ne wa.
 短い ペナンペ 昔話 だ よ

短いペナンペの昔話ですよ。

11 ペナンペ Penanpe と言おうとしたのであろう。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。